



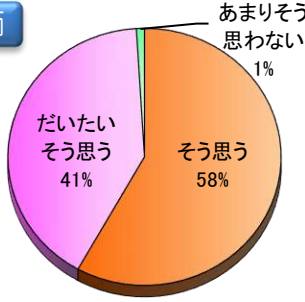
富士見丘だより

No.11 令和8年2月27日
昭島市立富士見丘小学校
校長 稲垣 達也

評価委員会 による評価

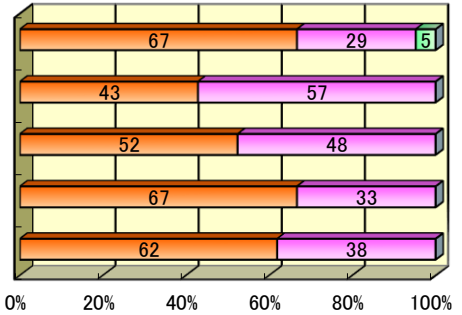
2月18日(水)、学校評価委員会を開催しました。保護者・児童・教職員の3者による「学校評価アンケート」の結果等を参考に、成果と課題を整理し、次年度へ向けた改善の視点等を協議しました。総合評価では肯定的な「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせた肯定的な評価が99%(6年度95%、5年度89%、4年度95%、3年度90%、2年度93%)と向上しています。「あまりそう思わない」は1%(6年度5%、5年度10%)と低下しました。今後も、学校の教育状況を分かりやすくお伝えし続けるとともに、学校関係者評価の結果を真摯に受け止め、次年度計画を立てて参ります。

総合評価



観点別

- 信頼される教育の確立
- 確かな学力の定着
- 豊かな心の醸成
- 健やかな体の育成
- 輝く未来に向かって



評価項目別

そう思う (orange), だいたいそう思う (pink), あまりそう思わない (green), そう思わない (light blue)

観点	No.	評価項目	評価委員会からのご意見等	評価
信頼される教育の確立	1	安全管理 危機管理	・常に子供の安全を最優先している学校の方針に安心感がある。・門扉の施錠が出来ていない時がある。安全管理を図るために徹底したほうがよい。・管理員の配置やオートロック設備など、安全で安心な学校生活を送れるような対応が必要である。	C
	2	コミュニティー スクール	・多様な立場の人たちが集まり、自由に意見を交わす場があり、地域の中の学校としての存在感がある。・学校HPやマチコミメール等を利用した細かい情報公開が出来ていて、保護者の安心、信頼にもつながっている。・楽しい学校生活が送れるように対応すべきである。	A
	3	垣根のない学校	・学年担任制、教科担任制の両輪で、一つの枠に縛られない指導体制は、学校を取り巻く大人たちに新たな目を与えている。さらに期待したい。・交流学習は、子供達にとって良い経験となり、自信につながっている。他児理解が広がり、思いやりのある関わりが見られる。	A
確かな学力の定着	4	学習習慣・ 学習規律の定着	・自主学習ノート等を活用して、学習習慣をつけさせる取り組みに、子供も保護者も同じ思いでいる。・学習の習慣づけは、学校だけでは補えない部分もあると思うので、家庭との連携が必要だと思う。・地域はもとより、家庭や学校で幅広く力をつけることが望ましい。	B
	5	基礎・基本的な 学力の定着	・授業では、本時のめあて、既習事項を生かす、振り返りなど、基礎学力の定着を図っている。・「授業が分かりやすい」児童が7割を占め、タブレットなど興味ある教具を使用することでより一層割合が上がると思う。・授業はもとより、予習や復習をして、学力をつけてほしい。	A
	6	新たな価値を 創造する力	・学ぶ楽しさやスタンスを向上させることが大切である。・子供たちの学力には差がある中で、対話を通してよりお互いに学び合う学習を確立させたい。・新たな価値とは何か、もっと具体性がないと、新しい社会の変化とともに、イメージがつかないのではと感じる。	B
豊かな心の醸成	7	自己有用感の 醸成	・一人一人の個性を生かした授業を行っている。子供に自分の存在が大事だと思わせている。・運動会や行事において、高学年の係活動を通して、個々が活躍できる場面が自己有用感に繋がっていると思う。今後も個々が輝ける機会の提供を期待したい。	A
	8	認知機能・ 社会性の向上	・認知機能に関しては、個人差が見られる分野でもあるので、個々の支援が必要だと感じる。・子供も大人も、様々な捉え方(認知の違い)があるということ、まず知ることから始まり、より良い人間関係を作るきっかけとなっていると思う。今後ますます重要な視点である。	B
	9	内面に根ざした 道徳性の涵養	・いろいろなマナー・ルールなどを学ぶことが大事。・道徳の授業だけでなく、他教科の授業などでも、子供たちの道徳性を伸ばす指導が必要。・道徳の授業や日常生活において、思いやりの気持ち、善悪の判断を指導する教職員の一貫した関りが求められると思う。	B
健やかな体の育成	10	健康管理 食育の推進	・給食の食材にこだわり、おいしい給食を提供している。・献立の中に郷土料理を入れたり、食に興味を持てる機会を与えていると思う。・健康管理に関しては、特に低学年は、うがい手洗いの励行は、また、担任の継続的な声掛けの支援が必要だと思う。	B
	11	体力・運動能力 の向上	・校庭が広く、体育、休み時間でものびのびと子供たちが体を使って動いている。体力向上につながる。・元気アップを取り入れたり、児童が参加しやすい取り組みが行われていると思う。中には運動が苦手な児童もいるので、配慮や支援が必要だと思う。	A
	12	心の 居場所づくり	・先生たちがきめ細かく指導してくれていて、子供たちの相談に乗ってくれている。・児童アンケートの中で、高く評価している結果を見ると、安心した学校生活が送れていると見られる。・今後も、好き嫌いをせず、誰とも話をしたり、運動をするように努めてほしい。	A
輝く未来に向かって	13	言語能力 の向上	・言葉の教育の大切さを校長先生が掲げ、全校でそれが統一されて活動を行っている。・低学年はボキャブラリーが少ないため、まずはそこからの言語力の充実、支援が必要だと思う。・学年ごとの発達段階にあった短作文や読書感想文の指導は評価できる。	A
	14	情報活用能力 の向上	・一人一台のタブレットを活用して授業でも効果的な使い方が見られる。・児童の集計結果では、インターネットルールを守れていると肯定的評価だが、引き続き学校においてもルールの確認は必要だと思う。・パソコンを使い、勉強や思いなどを打ってみることが大切。	A
	15	探究力の向上	・子供たちは課題追求するとともに、新たな課題に出会っても、また取り組む姿勢を見せていた。・児童が探究学習に興味を持てるよう、主体的に取り組めるよう、さらなる充実を期待したい。・得意なことは伸ばし、苦手なことはチャレンジするなど頑張ることが大事。	A

0% 20% 40% 60% 80% 100%



学校教育目標	○ よく考える子 ○ けんこうな子 ○ すすんで働く子 ◎ 思いやりのある子	教育ビジョン	【目指す学校像】	職員が組織的に協働して、児童が主体的に活動し、生涯学習の基礎を確実に身に付け、家庭・地域の信託に応える学校	学校像	垣根のない学校	児童像	教師像
			【目指す児童像】	未来の創り手として、自ら考え、創造力・表現力に富み、互いを尊重し人の為に尽くす、心身共に健康で活力に満ちた子供				
			【目指す教師像】	児童・保護者・地域の願いを受け止め、熱い心と志を持ち、変革に應ずることなく、使命と役割を遂行し、結果に責任を持つ教師				
前年度までの学校経営上の成果と課題		令和6年度評価報告書	<成果>今年から「ふじみスマイル」ができて、子供たちの居場所がまた一つ増えたり、子供たちの心が安定していて、大きないじめも発生せず、子供たちの安全・安心が守られていると感じます。良い方向に進んでいると思います。 <課題>スマホの見過ぎで寝る時間が遅くなるなど、生活習慣の乱れが、家庭学習の定着を阻害しているのではないのでしょうか。子供たちの学力の差が大きくて、これからも「誰一人取り残さない、個に応じた指導」を一層重視してください。					

教育委員会基本方針	No.	学校経営方針(教育課程)		学校経営目標(具体的な施策)		評価指標・評価基準		自己評価			学校関係者評価		評価結果を踏まえた 次年度の改善策
				中期経営目標 (25の目標)	短期経営目標 (50の施策)	取組指標 数値無しは100%を示す	成果指標 数値無しは100%を示す	取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
信頼される教育の確立	1	安全管理 危機管理	安全を全てに優先させ、危険予知・未然防止、安全管理・危機管理を徹底し、安全で安心な学校生活を保障する。	常に最悪の状態を想定して未然防止、初期対応を期す。	防災・危機対応マニュアルの周知徹底 児童の危機管理能力の向上	教室内鍵等の危険回避措置 重大事故発生…0件	3	3	▲環境面の整備・充実 ▲危機回避能力の育成	C	常に子供の安全を最優先している学校の方針に安心感がある。管理員の配置やオートロック設備等の対応が必要である。	【教室の内鍵】を強固なものに修理。多様な【避難訓練】の設定を工夫。教職員の研修を徹底し、【危険予知】【危機管理】力を向上させる。	
	2	コミュニティー・スクール	積極的に学校公開・情報発信を行うとともに、アンケートや個人面談、学校評価を有効に活用し、教育活動を改善する。	未来の守護者を育てる教育課程を地域とともに作る。	きめ細やかな意思疎通の推進 評価結果を踏まえた教育課程	行事毎のアンケートメール 保護者回答率…100%	4	4	○学校公開の充実 ○双方向の情報共有	A	多様な立場の人たちが集まり、自由に意見を交わす場があり、地域の中の学校としての存在感、信頼につながっている。	【地域行事】への積極的な参加。地域と協働した【学校行事】の推進。【毎日が学校公開】の感覚で、教育活動の公開、対話と協働に重点を置く。	
	3	垣根のない学校	学級経営を協働し、「垣根のない学校」として、誰もが安心して過ごせる、一人一人にとって居心地の良い学校をめざす。	学年担任制の効果的な制度設計と、円滑な実施・改善。	学年担任制の構築・実施 教科担任制等の共同体の充実	学年担任制の導入 教科担任制の導入	円滑の実施…8割 児童の満足度…8割	4	4	○人事交流・授業の充実 ○特色や特質を生かし合う	A	学年・教科担任制は枠に縛られない指導体制の新たな視点、交流学習は子供たちの自信、思いやりが広がっている。	通常級・さくら・難言の【人事交流】【交流授業】を推進しチーム力を高める。柔軟な教育課程で【月・水・金の6校時】など児童と向き合う時間を確保。
確かな学力の定着	4	学習習慣・学習規律の定着	自ら学びを生かそうとする主体的に学びに向かう力を涵養するとともに、学習習慣を確立する。	「学びのすすめ」「自主学習ノート」「寺子屋」の推進。	授業・補習と家庭学習の一体化 自ら学びに向かう姿勢の涵養	寺子屋充実…9割実施 寺子屋の満足感…8割	4	3	○推進プランを改善充実 ▲自主学習の推進	B	学習習慣は、学校だけでは補えない部分もあり、家庭と連携し、学校、家庭、地域で幅広く取り組むことが望ましい。	【自主学習ノート】と【学びのすすめ】の核として、学習習慣を定着させる。【寺子屋】の指導内容・指導方法を個別最適・家庭との連携を強化する。	
	5	基礎・基本的な学力の定着	実際の社会や生活で生きて働く基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得する。	学力の把握・検証に基づき授業改善を推進する。	指導と評価の一体化の推進 板書や発問する技術の向上	授業改善推進プラン改善 習熟度別学習の拡大充実	診断シート…5割以上 授業が分かる…8割	4	4	○個別最適な学び ○板書構成の工夫改善	A	授業では、本時のめあて、既習事項を生かす、振り返りなど、基礎学力の定着を図っている。予習や復習も大切である。	【学年・教科担任制】の導入により、すべての授業の質を向上させる。ICTやUDを活用した【分かりやすい授業スタイル】で効果的に指導する。
	6	新たな価値を創造する力	創造力・表現力に富み、正解のない課題に納得解を導き、新たな価値を創造することができる資質能力を育成する。	他者と協働し、学ぶ楽しさ、学びに向かう姿勢の向上	探究ノートの効果的な活用 自ら考え判断し表現する学習	探究ノートの活用・充実 課題解決学習…全教科	主体的に課題解決…8割 意欲的に課題解決…8割	3	4	○主体的な学びの充実 ▲新たな価値の創造	B	新たな価値とは何か、もっと具体性がないと、新しい社会の変化とともに、イメージがつかないのではと感じる。	【ふじみ探究の日】を核として、探究的な学習を一層深めていく。生活科と探究のカリキュラムを改善し、【6年間で系統的に育成】する。
豊かな心の醸成	7	自己有用感の醸成	一人一人の個性を生かし、相互の信頼関係を深める中で、自己の存在価値の認識等、自己有用感を高める。	自己有用感を高め、児童が個々のよさを発揮できる。	QIを踏まえた特別活動の充実 異年齢集団の活動の推進	学級会・異学年交流の充実 人権週間・人権集会の充実	4	4	○穏やかな学校生活 ○自己有用感が向上	A	個性を生かした授業を行っている。子供に自分の存在が大事だと思わせている。今後も個々が輝ける機会の提供を期待。	ふれあい月間の【命の授業】、WebQIなど豊かな関係性を醸成。【挨拶】【靴の踵を揃える】など家庭とともに凡事徹底を継続する。	
	8	認知機能・社会性の向上	コグトレ等で認知機能を高め、感情統制、対人スキルを養い、自他共に敬意をもって関係する力を付ける。	自他ともに大切にできる豊かな心情を育成する。	認知機能や感情統制の支援 やりぬく力、辛抱する力の育成	自己有用感を図る特別活動 意図的計画的なコグトレ	4	3	○自他を認め合う意識 ▲コグトレの系統的实施	B	子供も大人も、様々な認知の違いがあることを知ることから始まり、より良い人間関係を作るきっかけとなっていると思う。	認知-感情統制-対人スキル等、社会性を【コグトレ】で育成する。【異年齢の縦割り班活動】【交流及び共同学習】を一層充実させる。	
	9	内面に根ざした道徳性の涵養	人権尊重の精神を基調に、自他を大切に、共によりよく生きるために、児童の内面に根ざした道徳性を育成する。	問題解決的あるいは体験を通じた発問構成の工夫。	広い視野で考え議論する道徳 内面に根ざした道徳性の涵養	考え議論する道徳…9割 命の授業の実施…全学年	自分事として考え議論…8割 自分事として振り返り…8割	3	4	▲議論する道徳の工夫 ○思いやりの心が醸成	B	道徳の授業や日常生活において、思いやりの気持ち、善悪の判断を指導する教職員の一貫した関りが求められると思う。	【考え議論する道徳】の授業展開、【人権集会】で豊かな心を育成する。【朝読】【短作文】などの取り組みで、1日を心穏やかにスタートする。
健やかな体の育成	10	健康管理 食育の推進	感染状況を踏まえた新しい生活様式の定着とともに、望ましい給食指導など、健康教育の推進、充実、改善に努める。	健康教育・食育推進計画を改善、充実、徹底させる。	新しい生活様式の定着 食育の計画的な推進・充実	グット60強化週間…年3回 お弁当の日の課題設定	1日の病欠…3人以下 お弁当課題遂行…8割	4	3	○生活習慣の定着 ▲スマホ依存増加傾向	B	食材にこだわり、郷土料理など、食に興味を持てる機会を与えている。低学年は、うがい手洗いの継続的な声掛けが必要。	【ノースマホデー】等、スマホやゲーム依存の対策を講じる。【給食課】【栄養士】と協働して、計画的な食育を推進する。
	11	体力・運動能力の向上	基礎的な体力の向上と運動習慣、生涯に渡って積極的に運動に親しむ資質や能力を高める。	体力調査結果を検証・活用し、体育授業を改善する。	元気アップタイムの拡大充実 新しい上履きの推奨・足育推進	元気アップタイムの拡大 体育の授業の工夫改善	外遊び…週1回90% 運動が楽しい…8割	3	3	▲運動習慣の改善 ▲元気UPの活用充実	A	元気アップを取り入れたり、児童が参加しやすい取り組みが行われているが、運動が苦手な児童への配慮や支援が必要。	元気アップガイドブックを活用した【元気アップタイム】を拡大・充実させる。休み時間の【外遊び】【学級レク】を推奨し、体を動かす時間を確保する。
	12	心の居場所づくり	一人一人の居場所づくりや心に寄り添う相談など、不登校等、一人で悩みを抱えない相談体制を構築する。	様々な人と関わりをもち、悩みを話せるようにする。	全教員による個の支援・相談 SOSを出せる雰囲気醸成	共同担任制の充実強化 SOSカードの効果的な活用	大人に相談できる…9割 学級満足度…9割	4	4	○ストレスのない学校生活 ○ふじみスマイル効果	A	先生たちがきめ細かく指導をしていて、子供たちの相談に乗ってくれている。安心した学校生活が送れている。	【学年担任制】など、すべての子供にとって学校が安心できる場所とする。【SOSカード】の活用で、いつでも相談できる雰囲気を醸成する。
輝く未来に向かって	13	言語力の向上	学校図書館の機能の充実を図り、言語能力とともに、未知の課題に向き合い思索する力を育成する。	学校図書館活用を中心に、言語活動を充実させる。	学校図書館活用の推進 短作文・読書感想文の指導充実	図書館活用授業…全学級 書くことの指導…全学級	言語力向上…8割 短作文・読書が好き…9割	4	4	○学校図書館の活用充実 ○語り合い活動の充実	A	言葉の教育の大切さを校長先生が掲げ、全校でそれが統一されて活動を行っている。短作文や読書感想文の指導がよい。	【短作文】【読書感想文】【調べ学習】【思索コン】のつながりを重視する。思考力を核としつつ、【語り合い】の時間と内容を一層充実させる。
	14	情報活用の向上	1人1台端末やオンライン活用を含め、情報活用力を育成するとともに、新たな解を創造する力を醸成する。	見方・考え方を働かせながら思索する場の充実。	1人1台タブレットの効果的な活用 プログラミング教育の推進	教育の情報化…全学級 プログラミング…全学級	情報活用力向上…8割 論理的思考力向上…8割	3	4	▲探究ノートの有効活用 ○探究学習の深化	A	ICTを活用して授業でも効果的な使い方が見られる。インターネットルールについては、確認、徹底が必要だと思ふ。	【MISHプログラミング】を活用してプログラミングの思考を深める。本校の6年間の【情報活用能力指導計画】に基づき、着実に育成する。
	15	探究力の向上	教科横断的に各教科等の教育内容を相互に関連付け、配列し、6年間を見通した教育課程全体を往還させる。	育てたい子供像を明確にし、教育課程全体を関連付ける。	教科等を関連付けた指導計画 総合的な学習の時間の改革	探究6年間の指導計画策定 探究の日実施…全学年	年間指導計画実施…9割 探究学習の達成感…9割	4	4	○縦割り班活動の充実 ○各種賞の上位入賞	A	子供たちは課題追求するとともに、新たな課題に出会っても、また取り組む姿勢を見せていた。さらなる充実を期待したい。	【未知の課題に対峙する力】を育成する機会を意図的に設定していく。6年間の【探究力】を系統的・計画的に積み上げていく。

令和8年度 に向けた 学年担任制アンケート調査について

日頃より、本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、今年度から、「一人の学級担任に固定せず、学年全員で協働して学級経営を担う」という構想に基づき、学年担任制を推進して参りました。アンケートや保護者会等で御意見等を伺いながら、工夫・改善、軌道修正を施しつつ、円滑に実施することができました。重ねてお礼申し上げます。

この1年間を振り返りますと、**各学年の発達段階や実態に応じた柔軟な教育課程**を組み、以下のような多様な取り組みをしてきました (<http://www.city.akishima.ed.jp/~fujimi/TeamSystem/index1.html>を御参照)。

- ① 『学年担任』 1～2年：学級の基盤となる日常の指導を重視し、**従来どおり同じ担任が担当**
3～6年：朝や帰りの会、給食指導等を、月や週毎に**学年教員が交互に担当**
- ② 『教科担任』 1～2年：学年3人の教員が、**学級活動・道徳・国語**を分担して3学級とも担当
3～6年：学年2人の教員が、**社会や体育等の教科**を分担して2学級とも担当
- ③ 『生活・総合』 全学年：学習内容や時期に応じて、学級単位ではなく**学年で学習集団を編成**
(学年合同で数グループ編成して、テーマごとに探究的な学習を展開)
- ④ 『交流学习』 1～2年：支援学級の基盤づくりに重きを置き、交流・共同学習は**段階的に実施**
3～6年：「通常の学級」と「さくら学級」が**個に応じた支援をしながら合同で学習**

【アンケートのお願い】

来年度の実施に向けて、あらためてアンケート調査を実施させていただきます。御多用中、誠に恐縮ですが、下記の通り、御協力をお願い申し上げます。

- 1 **ご依頼方法等** 令和8年2月27日(金)、マチコミで、アンケート用のQRコードをお知らせします。
令和8年3月 8日(日)までに、御回答願います。
- 2 **アンケート内容** 昨年度のアンケート内容に準じて、「期待される効果」等に基づき、作成しました。

	設 問	選択肢
①	それぞれの学年に応じた、 学年担任制の方法 は、効果的だったと思いますか？ ⇒主に 児童理解の効果 (複数の担任が協働して学級経営を担い、複眼的に一人一人の児童に対応し、児童がどの教員にも相談しやすい体制ができる。)	A 効果的である B だいたい効果的である C あまり効果的ではない D 効果的ではない
②	それぞれの学年に応じた、 教科担任制の方法 は、効果的だったと思いますか？ ⇒主に 授業改善の効果 (個々の教員の強みを生かした授業や指導ができ、若手とベテランが学び合い、学級間の差が生ぜず、学年で統一した指導ができる。)	A 効果的である B だいたい効果的である C あまり効果的ではない D 効果的ではない
③	それぞれの学年に応じた、 生活科・総合的な学習の集団編成 は、効果的だったと思いますか？ ⇒主に 学び合いの効果 (学習集団を固定せず、児童が希望するテーマや学習内容に応じた集団編成で、多様な人間関係の中で学び合い、教え合いができる。)	A 効果的である B だいたい効果的である C あまり効果的ではない D 効果的ではない
④	それぞれの学年に応じた、 交流および共同学習の方法 は、効果的だったと思いますか？ ⇒主に 特別支援の効果 (通常の学級と特別支援学級の児童が合同で学ぶことで、学習の場の保障と、相互理解を深め、豊かな人間性を形成することができる。)	A 効果的である B だいたい効果的である C あまり効果的ではない D 効果的ではない
⑤	以上、全体の取り組みを通して、 保護者の皆様の不安 は、今もありますか？ ⇒主に 学年担任制の不安 (報告・連絡・相談などは大丈夫か、情報共有や対応に齟齬が生じないか、それぞれの教員が無責任にならないか、などの不安。)	A 不安はない B あまり不安はない C やや不安である D 不安である

< 学校からのお知らせ >

3月の生活目標 「身の回りの整理整頓をしよう」

3月の保健目標 「手洗いうがいをしっかりしましょう」

☆特別支援学級「さくら学級」の呼称について

本校の自閉症・情緒障害特別支援学級は、「さくら学級」の呼称で親しまれてきましたが、「さくら学級」及び「通常の学級」という相互間の呼称の違和感が払しょくできないため、令和8年度より、「さくら学級」及び「通常の学級」という呼称をやめ、**さくら学級を「1組」、通常の学級を「2組、3組…」と変更**させていただきます（学区の昭和中学校と同様となります）。慣れるまで混在すると思いますが、ご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

☆令和8年度 始業式・入学式について

令和8年度の始業式は、4月6日(月)です。給食なしの午前授業となります。

入学式は4月8日(水)の午後2時から開式予定です。新2年生、新6年生は、入学式の出し物や1年生のお世話などがあるため、下校が遅くなりますのでご承知おきください。

☆転出入についてのお願い

次年度の学級編成の時期となりました。**クラス数決定のため**、各学年の在籍数を正確に把握しておく必要があります。**転出**する可能性が少しでもありましたら、**早めに**担任へお知らせ願います。また、本校に転入予定の方をご存じでしたら、早めに富士見丘小へ連絡するようお声掛けをお願いいたします。

☆保護者会の資料をご確認ください

3学期の様子や、あゆみ、春休みのこと、来年度の予定などについてのお知らせは、保護者会資料をご確認ください。

☆ふじみスマイル（安心ルーム）について

本校では、昨年度より、東京都教育委員会「校内別室指導員の配置事業（2年間）」の補助金を活用して、ふじみスマイル（安心ルーム）を設置し、校内別室指導支援員が常時在室し、児童一人一人のニーズに応じた受け入れ体制を整備して参りました。

しかし、東京都からの補助金の終了に伴い、昭島市としては本事業を継続しない予定ということで、これまで通りの**校内別室指導支援員の配置はなくなりました**。

本校では、様々な困難を抱えている子供たちが支援や相談を受けられるよう、多様な居場所の必要性を鑑み、「**ふじみスマイル（安心ルーム）**」は**継続**する予定です。今後は、教育活動支援員（学習支援員、特別支援教育支援員）等が支援に当たれるように工夫しますが、これまで通りの十分な配置は厳しくなりますので、御理解の程よろしくようお願いいたします。

<3月の行事予定>

※ 表中の(数字)は学年、丸数字は授業時間を表示。例:(5)5年生 ③3時間目
 ※ 下校時刻目安 4h授業…13:20 5h授業…14:40 6h授業…15:35

日	曜	給食	朝	行事予定	授業時数					
					1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	日									
2	月	○	安集	保護者会(2,4,6) 体育館会場設営(5)	4	5	5	5	5	5
3	火	○	コ	卒業式練習(5,6)	5	5	6	6	6	6
4	水	○	集	委員会活動	4	4	4	4	5	5
5	木	○	作	卒業式練習(5,6)	5	5	6	6	6	6
6	金	○	モ	寺子屋	4	4	4	5	5	5
7										
8										
9	月	○	長モ		4	5	5	5	5	5
10	火	○	コ	卒業式練習(5,6)	5	5	6	6	6	6
11	水	○	集		4	4	4	4	4	4
12	木	○	作	卒業式練習(5,6)	5	5	6	6	6	6
13	金	○	モ	寺子屋	4	4	4	5	5	5
14										
15										
16	月	○	生モ		4	5	5	5	5	5
17	火	○	コ		5	5	6	6	6	6
18	水	○	モ	卒業式練習(5,6)	4	4	4	4	4	4
19	木	○	作		5	5	5	5	5	5
20	金			春分の日						
21	土									
22	日									
23	月	○	モ	卒業式予行(5,6) 給食終 大掃除	4	4	4	4	5	5
24	火	×	特	修了式 卒業式前日準備(5)	4	4	4	4	4	4
25	水	×	特	卒業式	0	0	0	0	2	2
26	木									
27	金									
28	土									
29	日									
30	月									
31	火									

※予告なしの避難訓練があります。